

下妻市定例教育委員会（令和５年７月２５日）会議録

１．開催日時	令和５年７月２５日（火） 午後３時００分 開会 午後４時２５分 閉会
２．開催場所	下妻市役所本庁舎 ３階 会議室３－１
３．出席委員	教 育 長            中山   均 教育長職務代理者   齊藤   修一 委   員            青木   明美 委   員            赤荻   由美 委   員            山口   政志
４．委員以外 の出席者	教育部長            横瀬   哲彦 教育部参事        圓崎   佳江 学校教育課長      國府田   聡 生涯学習課長      佐久間   秀樹 図書館兼公民館長   吉 川   淳 学校教育課長補佐   板橋   孝子 学校教育課係長    高崎   みゆき
５．議事録署名人	青木   明美委員
６．協議事項 及び研修	（１） 令和６年度使用教科用図書の採択について （２） 下妻市立小中学校適正規模適正配置検討委員会規則の全部 改正について （３） 下妻市立学校給食運営協議会設置規程の全部改正について
７．議事の概要	
教育長	<p>７月の定例の教育委員会を始めたいと思います。議事録署名人は青木委員さんをお願いいたします。</p> <p>よろしくお願いします。</p> <p>初めに、諸般の報告を指導課からお願いします。</p> <p>【指導課から報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の計画訪問について</li> <li>・県の遠隔教育実証研究事業について</li> </ul>
青木委員	
教育長	
教育部参事	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県の教員選考試験について</li> </ul>
教育長	続きまして、学校教育課からお願いします。
学校教育課長	<b>【学校教育課から報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場におけるペッパー君の活用について</li> <li>・教育委員の学校訪問について</li> </ul>
教育長	次に、生涯学習課からお願いします。
生涯学習課長	<b>【生涯学習課から報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧千代川中学校跡地に保管していた千代川地区の文化遺産の移動について</li> </ul>
教育長	図書館公民館からお願いします。
図書館兼公民館長	<b>【公民館・図書館から報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千代川公民館の空調設備の改修について</li> <li>・CD資料の貸し出しの再開について</li> <li>・夏休み期間中の図書館のイベント企画について (読書でBINGO、夏休みの1日図書館員の2つの企画)</li> </ul>
教育長	議事の方に入りたいと思います。 初めに議案第30号、令和6年度使用教科用図書の採択について事務局からお願いします。
学校教育課長	<b>【学校教育課から説明】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第30号、令和6年度使用教科用図書の採択について</li> </ul>
委員	<b>【協議】</b>
委員	<b>【承認】</b>
教育長	続きまして、議案第31号下妻市立幼稚園及び小中学校適正規模適正配置検討委員会規則の全部改正について、事務局からお願いします。

学校教育課長	<p>【資料により説明】</p> <p>・児童生徒の教育条件の向上を図るため、新たに市立小中学校の適正規模適正配置の基本計画を策定するため、今回、下妻市立幼稚園及び小中学校適正規模適正配置検討委員会規則の全部を改正し、下妻市立小中学校適正規模適正配置検討委員会規則を制定するもの。</p>
教育長	ただいまの説明について、ご質問等ございましたらお願いします。
齊藤委員	この検討委員会を持つことによって、どのくらい先を見てスタートするのか、その辺の考え方はどうですか。
学校教育課長	<p>最終的には、委員会で検討していただくことにはなるんですが、基本的な考え方として、この先少子化が進んでいく中で最終的に学校の規模とはどのぐらいにするかというのを、決める必要があると思ってます。クラス替えができる規模を維持するということであれば、集約をしていかなければ、維持するのは難しいのかなと思います。そういった場合に、案として考えられるのは、市内を全て1つにするのもあり得ると思いますし、3中学校区ありますので、それで3つにするというのも1つとして考えられます。あるいは小規模化の良さを生かしていくんだというような意見が多数を占めるということであれば、場合によっては集約化を目指さないという考え方もあるのかなと思います。教育委員会で予め、こうしますというのをもって進めるということは、それは会議の中での意見を我々が誘導するようなことにもなってしまうので、これが答えですというのは提示していません。様々な資料は出させていただきますが、検討委員会の中で、検討していただくことで考えています。</p> <p>お手元に仮称下妻市立小中学校適正規模適正配置基本計画の策定及び仮称下妻市立学校給食施設整備方針ということで資料をお示しさせていただいております。</p> <p>適正規模適正配置の基本計画は、先ほどの説明とも重複しますが、少子化の進展に伴い児童生徒数が減少し、学校の小規模化が進む中、児童生徒の教育条件の向上を図るため、市立小中学校の適正な学級編制及び学級数並びにそれらに応じる適正配置について基本的な計画を策定するものということで、下妻市の教育が向かうべき方向性を決められればと思っております。</p> <p>それと同時に仮称下妻市立学校給食施設整備方針、こちらの方も決定していきたいと考えております。これは給食施設の老朽化や、</p>

	<p>衛生管理基準への適合、栄養士の配置、不安定な委託契約など様々な課題がある中で、今後も安全安心な学校給食を安定的に提供するため、自校方式と委託によるセンター方式が混在する本市の学校給食の今後の運営方法を定め、その運営方法に応じた学校給食施設の整備方針を決定するということで考えております。</p> <p>まずは、検討委員会の中で、市議会議員、地域代表、保護者代表の委員さんの方々に十分ご検討していただき、更にアンケート調査も行う予定ですので、市民の意見を集約した上で、より良い教育条件を児童生徒、子供たちに提供できるようにということで、計画の方を作っていきたいと考えております。以上でございます。</p>
教育長	<p>検討委員会の方は、先ほどの検討委員会規則の第4条で委員の任期は、第2条の規定による報告を行なった日までとするとなっておりますけど、一応目途としてはどうなんですか。</p>
学校教育課長	<p>まず適正規模適正配置につきましては、支援委託業務継続2年間で概ね、本年度来年度で予定しております。</p>
教育長	<p>わかりました。</p> <p>次の議案第32号も合わせて説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>【資料により説明】</p>
教育長	<p>ご質問等ございましたらお願いします。</p>
齊藤委員	<p>センター方式に変えていくということも、案の1つに上がるんですか。自校方式をやめてセンター方式にしようという案が出た場合には、それについても考えていくということで。</p>
学校教育課長	<p>それは、1つの選択肢としてあり得るものです。自校方式だとなかなか栄養士が配置できなかったりという状況もあるので、そのあたりでメリットの大きさ、そういうのを比較して検討できたらと思います。ただ自校方式がいいという意見も当然あるのかなとも思います。そのあたりも踏まえながらということにはなってくるんですが。一番、安全安心な給食の提供という点で、検討がすすむといいかなと思っております。</p>

齊藤委員	委託の契約は令和８年度までですか。
学校教育課長	いったん契約が切れますが、そこは令和８年度までに方向性を決めて完了させるのは非常に厳しい事案なので、それは常総市とも調整させていただいて一定期間延長させてもらうことも検討する必要があります。
青木委員	常総市のセンターが終了するわけではなく、契約が一応８年でいったん終了するってことなんですね。
学校教育課長	下妻市と常総市で以前１０年間の契約を結んでいたのが、今の契約では５年間で一回切れます。常総市のほうでも、様々な検討を行っている状況があるようです。
齊藤委員	場合によっては更新なども、それは今後の話し合いで常総市さんと協議するということでしょうか。
学校教育課長	常総市さんも今、適正規模適正配置や給食センターなど、いろいろと検討されていると思います。協議はその時その時に丁寧にやっていかないと難しいなと思ってます。自校方式では、調理員が２人でやっているところもあります。コロナの時期には、作る人がいなくなってしまうんじゃないかという心配もありました。実際、運営していくのは自校方式は難しい部分があります。学校が小規模化もしていますし、そういった中で給食をどうするのかというのは適正規模と一緒にセットで考えていく必要が出てきます。
教育長	<p>センター方式をとっているところでも、新しいところは多目的というか、防災施設と給食センターを兼ねた建物を作っているところなどもあるようです。給食を学校関係だけではなく他にも提供するというようなところも出てきているようです。給食センターの目的そのものも、どういうものにするのかということも考えないと。今の時代の流れでいうと、持続可能な施設として、どう考えるか。教育委員会だけでは事務局として、これだけのボリュームのデータを提供することは難しいので、支援業者のデータも活用しながら進めていければと思っています。</p> <p>いかがでしょうか。適正規模適正配置検討委員会規則と学校給食運営協議会設置規程の２つの改正について、ご承認いただけるでしょ</p>

委員	うか。
教育長	【承認】
山口委員	<p>ありがとうございます。では、その他ということで、委員の皆さんから諸般の報告も含めてご質問等ございましたらお願いしたいと思います。山口委員さん。</p> <p>いくつかいいですか。</p> <p>人型ロボットのペッパー君に関してなんですが、いろんな施設で見かけてきました。その施設に応じて、ペッパー君が対応するように配備されていて、対応力がすごいなと思いました。今度、学校に入るとなったら子供たちも楽しみなんじゃないかと思いました。</p> <p>また、この夏、地区の夏祭りを開催しました。このところ、全然、地域との交流がなかったのですが、今回、地域の方と子どもたちが、繋がって行って、とてもよかったと思います。お神輿なども復活すれば、地域の大人が子どもたちを育てようという意識も高まっていくのかなと思います。</p>
教育長	今は子供会という組織は、どうなっていますか。
山口委員	子供会がありますが、行事そのものは少なくなりました。子供会旅行も行かなくなりましたね。
教育長	では、続いて赤荻委員さん、よろしくお願いします。
赤荻委員	<p>先日の県西地区の市町村の教育委員会連絡協議会の中でも、常磐大学の先生のお話を聞き、働き方改革で、時間の管理以上に、やりがいということも振り返る夏休みになってくれたらいいなと思いました。</p> <p>小学校で6年生の男の子3人と話したときに、総合の時間などには、何やってるのかと伺ったら、プログラミングをやっているということでした。難しいかと聞いたら、面白いよっていうことでした。そういうことも学校でやってるんだと思って、子供たちは、興味を持っているんだということがわかりました。</p> <p>先ほどの子供会の話ですが、やはり、地区内でもこどもがへってしまい、子ども会があっても形骸化して、活動もできない状況があ</p>

	<p>るようです。</p>
教育長	<p>青木委員さん、お願いします。</p>
青木委員	<p>子供会やお祭りへの参加などについても、昔とは考え方もかわってきているのを感じます。個人に参加しますかと意向を聞きながらすすめていくような、これからは、そういう対応にもなってくるのかなとも思います。</p>
齊藤委員	<p>現状はそうなんだろうけど、何とかしたいとも思います。どういう手だてがあるかわからないけども、きっかけづくりをしながら、地域の関係をもう少し、希薄なものからもう一歩前進するようなことはやらなくてはいけないのかなというのは感じます。</p> <p>また、学校の I C T の活用は、学校訪問をして、低学年でもアプリを使っていたりするのをみて、子供たちが慣れてきたというのを感じます。今回、コロナ禍は大変でしたが、こういったプラスになった面もあったと思います。</p> <p>また、千代川地区の文化遺産の保管ですが、旧千代川庁舎に移して保管していただいて感謝だなと思います。仮置きで、また移動するということなので、判断するのが難しいとは思いますが、保存するもの等を検討しながらやっていただければと思います。</p>
生涯学習課長	<p>千代川地区の方から、千代川地区の文化遺産の保管について、喜んでくださるようなお声もいただくので、今後、もしかしますと 50 年後 100 年後の未来の方々が、もっと違う研究方法を見つけて、もっと資料の価値を上げていただくかも知れないので生涯学習課としては、現在は保存していきたいと思っております。</p>
齊藤委員	<p>はい、わかりました。よろしくお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>先ほど子供会のお話なんですけど、子供会の担当の事務方からの状況をみますと、3 年間で、子供会自体は 11 しか減ってないんですけど、会員は 500 人減っています。一方、学童保育の利用率は、子どもが減っていても利用率があがっている状況です。こういったことから、夏休みの過ごし方なども以前とは違って、社会状況が変動していることを思います。社会教育委員会議の役員の会議をやっても、執行部の方々も解決方法が見つからない、模索しているという</p>

	のが現状です
教育長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>たくさんご意見頂きましてありがとうございます。私が今、感じているのは、学校教育と家庭教育をもっと密接な関係にしていく必要があると思います。家庭も学校教育も同じ歩調で進んでいかないと、子供のいい成長には繋がらないのかなと思っています。特に今、話題にあった人間関係ですが、これだけパソコンが進展してきて、A I の活用はどうか、などという話もあり、子供たちの創造力はどうかという、そんな危惧も出てきている状況かと思います。人間同士の付き合いと人間とコンピュータの関係、そこを上手くバランスをとっていかないと、地域の間人間関係も上手くいかないし、学校だけでやっても成果が上がらない。家庭教育と学校教育のすり合わせも必要だと思います。例えば、中学校の生徒指導の問題が色んな形で顕在化しますが、実は、小学校の低学年からそれは潜在化していると考え、小学校に入った時点で、家庭教育と学校教育を上手くすり合わせてやっていかないと難しい時代になってきたのかなと感じています。家庭教育、学校教育、そして社会教育とその3つのバランスをとるのが大事だと考えています。</p> <p>では、その他、事務局から。</p>
学校教育課長	<p><b>【事務局から連絡】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の教育委員会の日程について</li> </ul>
教育長	<p>以上で定例教育委員会を終わりにします。ありがとうございました。</p>